

# 木原ゼミ 正正会

昨年7月13日(土)第8回総会は楽友会館に22名が参加。北島健一立正大学教授の講演『連帯経済の問うもの～モラルエコノミーの復権～』。買い物難民のための移動式スーパー、地域住民による互恵的な在宅介護サービス、急増する子ども食堂、振興組合主導の商店街の再建、など互酬的な「連帯と自治」の活動が日本でも世界でも広がっている。国連等の国際機関でも「社会的・連帯経済 (Social and Solidarity Economy)」の呼称が使われ、非資本制的な企業組織あるいは所有形態 (コモン) への注目も大きい。お金を稼ぐことそのもの (際限ない) を駆動力とする経済活動 (Money Economy) から、人間

の基本的ニーズの充足 (際限ある) を駆動力とする経済活動へ。木原先生の仰った「理念・規範が大事」との言葉が思い起こされる。

懇親会では「資本論の読破に挑戦中」「木原先生はじめ先達の仰ったことを、この歳になってやっと少し理解できるようになった」との発言が数々。

今回は2026年10月の平日。

深田 弘明 (昭和53年卒)

E-mail:hiroakifukada1955@gmail.com



## ゼミ会を発足される方への支援制度

経済学部同窓会では、退官・退職された先生方のゼミ会を発足・復活させようとお考えの方に、ゼミ会立ち上げにかかる通信費用 (案内状の送付費用等) を一部支給する支援金制度を導入しました。軌道に乗るまではゼミ会の財政が安定しないため、発起人・幹事の方がやむなくご負担されるケースもあるとお聞きし、少しでもお役に立てれば幸いと考えております。

予算の都合上、以下のような要領で運営いたしますので何卒ご理解ご協力をお願いいたします。

用途	ゼミ会発足にかかるゼミ生への通信費等
金額	ゼミ会1回につき実費あるいは3万円のいずれか少ない額、最大3回まで支給。
お約束	ゼミ会開催の様子を「同窓会報」に必ずご寄稿ください。